

高齡者等実態調査  
集計分析報告書  
【若年者調査】

平成27年1月  
鹿児島県



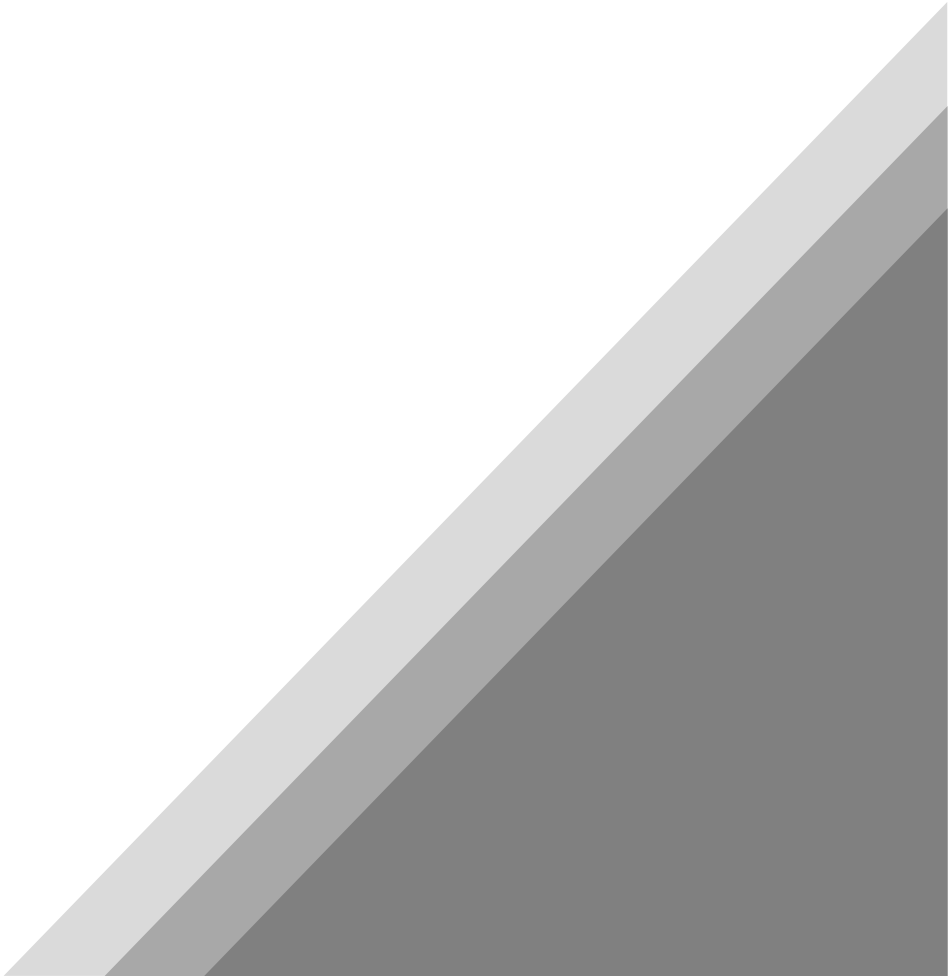
## ～ 目 次 ～

|                             |    |
|-----------------------------|----|
| 第1章 概要                      | 1  |
| 1 目的                        | 2  |
| 2 調査方法                      | 2  |
| 3 有効回答数                     | 3  |
| 4 調査結果利用上の注意                | 3  |
| 第2章 調査結果                    | 5  |
| 1 性別                        | 6  |
| 2 年齢                        | 8  |
| 3 世帯類型                      | 10 |
| 4 住まいの種類                    | 12 |
| 5 住まいの困り事（複数回答）             | 14 |
| 6 将来（高齢期）、希望する生活場所          | 16 |
| 7 経済的な暮らし向き                 | 18 |
| 8 将来の生活への不安の内容（複数回答）        | 20 |
| 9 地域のつながりの程度                | 22 |
| 10 地域のつながりを感じること（複数回答）      | 24 |
| 11 生きがいの程度                  | 26 |
| 12 生きがいを感じる時（複数回答）          | 28 |
| 13 ボランティアのグループへの参加頻度        | 30 |
| 14 スポーツ関係のグループやクラブへの参加頻度    | 32 |
| 15 趣味関係のグループへの参加頻度          | 34 |
| 16 町内会・自治会への参加頻度            | 36 |
| 17 学習・教養サークルへの参加頻度          | 38 |
| 18 その他の団体や会への参加頻度           | 40 |
| 19 見守りが必要な高齢者を支援する活動の頻度     | 42 |
| 20 介護が必要な高齢者を支援する活動の頻度      | 44 |
| 21 子どもを育てている親を支援する活動の頻度     | 46 |
| 22 地域の生活環境の改善（美化）活動の頻度      | 48 |
| 23 収入がある仕事の頻度               | 50 |
| 24 心配事や愚痴を聞いてくれる人（複数回答）     | 52 |
| 25 心配事や愚痴を聞いてあげる人（複数回答）     | 54 |
| 26 看病や世話をしてくれる人（複数回答）       | 56 |
| 27 看病や世話をしてあげる人（複数回答）       | 58 |
| 28 家族や友人・知人以外で、相談する相手（複数回答） | 60 |
| 29 友人・知人と会う頻度               | 62 |
| 30 この1ヶ月間に会った友人・知人の数        | 64 |

|     |   |     |
|-----|---|-----|
| 3 1 | よく会う友人・知人との関係（複数回答） .....                       | 66  |
| 3 2 | 今後の地域活動やボランティア活動への参加意向 .....                    | 68  |
| 3 3 | 地域活動等への参加促進のために県や市町村が取り組むべきこと（複数回答） ..          | 70  |
| 3 4 | 引退の年齢への考え .....                                 | 72  |
| 3 5 | 収入のある仕事をしている理由【現在、収入を得られる仕事をしている方のみ】（複数回答） .... | 74  |
| 3 6 | 現在の健康状態 .....                                   | 76  |
| 3 7 | 治療中、または後遺症のある病気の種類（複数回答） .....                  | 78  |
| 3 8 | 処方薬を何種類飲んでいるか .....                             | 82  |
| 3 9 | 通院頻度 .....                                      | 84  |
| 4 0 | 通院介助の必要性【通院をしている方のみ】 .....                      | 86  |
| 4 1 | 健康の維持増進のために心がけていること（複数回答） .....                 | 88  |
| 4 2 | 健康について知りたいこと（複数回答） .....                        | 90  |
| 4 3 | 介護保険料の仕組みの理解度 .....                             | 92  |
| 4 4 | 介護保険の給付と負担のバランスについての考え .....                    | 94  |
| 4 5 | 介護による仕事の中断の有無 .....                             | 96  |
| 4 6 | 退職・休職した年齢【仕事を退職・休職したことがある方のみ】（複数回答） .....       | 98  |
| 4 7 | 自分はどんな介護を受けたいか .....                            | 100 |
| 4 8 | 在宅で介護を受けたい理由【自宅で介護を受けたい方のみ】 .....               | 102 |
| 4 9 | 「介護予防」という言葉を聞いた場所（複数回答） .....                   | 104 |
| 5 0 | 介護予防で希望する取組（複数回答） .....                         | 106 |
| 5 1 | 介護予防のために実際にしている取組（複数回答） .....                   | 108 |
| 5 2 | 介護予防で行政が特に力を入れるべき取組（複数回答） .....                 | 110 |
| 5 3 | 認知症に対する不安・心配事の内容（複数回答） .....                    | 112 |
| 5 4 | 認知症について知っている相談窓口の種類（複数回答） .....                 | 114 |
| 5 5 | 認知症の人に対する関わり（複数回答） .....                        | 116 |
| 5 6 | 高齢社会対策において行政が特に力を入れるべき取組（複数回答） .....            | 118 |
|     | 資料編 .....                                       | 121 |



## 第1章 概要



## 1 目的

平成26年度における介護保険事業（支援）計画及び高齢者保健福祉計画の見直しに当たり、既存データでは把握が困難な、高齢者の実態や意識・意向を調査・分析することにより、計画策定の基礎資料とする。

## 2 調査方法

### (1) 調査の種類及び対象者等

| 調査の種類 | 対象者                                      | 各市町村対象者数   |
|-------|--|--|
| 若年者調査 | 平成25年10月1日現在で40～64歳である者で、かつ市町村に住所を有している者 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象者500人未満は全数調査</li> <li>・対象者500人以上は抽出調査</li> </ul> |

### (2) 調査の方法

| 調査の種類 | 調査方法                      |
|-------|---------------------------|
| 若年者調査 | 原則として、郵送又は市町村職員等が面接調査を行う。 |

### (3) 調査期間

平成25年10月から平成26年3月までの間

### (4) 調査の基準日

平成25年10月1日（原則）※調査対象者の抽出日

### 3 有効回答数

| 圏域    | 有効回答数  |
|-------|--------|
| 鹿児島   | 1,895  |
| 南薩    | 1,886  |
| 川薩    | 1,202  |
| 出水    | 1,200  |
| 始良・伊佐 | 2,325  |
| 曾於    | 1,454  |
| 肝属    | 3,139  |
| 熊毛    | 1,754  |
| 奄美    | 4,881  |
| 合計    | 19,736 |

### 4 調査結果利用上の注意

- ア) 回答率は百分比の少数第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。
- イ) 2つ以上の回答が可能である（複数回答）の場合、その回答比率の合計は原則として100%を超える。
- ウ) 回答を1つ選択する（単純回答）質問の図表は、スペースの都合上、5%未満の数値の表記を原則除外している。数値は数表を参照のこと。
- エ) 図表、数表は、スペースの都合上、文言を省略している場合がある。文言の詳細は巻末の調査票を参照のこと。